

古田陣営は松川前教育長、江崎陣営が森元岐阜大学長



江崎禎英氏の選対本部長に就いた森秀樹氏＝11月27日、岐阜市藪田南、OKBふれあい会館



古田肇氏の選対本部長に就任した松川禮子氏＝8日午後、岐阜市藪田南、県水産会館

選対トップは教育者

来年1月の県知事選を巡り、5選を目指す現職の古田肇氏(73)と、元中央官僚で新人の江崎禎英氏(56)の選挙活動を担う選挙対策本部の陣容が8日、それぞれ固まった。両陣営とも、トップの本部長には教育関係者が就く特徴的な布陣となった。【関連記事17面に】



古田氏陣営の本部長に就任したのは、前県教育長で岐阜女子大学長の松川禮子氏。岐阜市内で8日、記者会見した松川氏は「11年間の在職中、危機管理案件の対応で古田氏のすごみを見てきた」などと振り返り、「コロナ禍を乗り越えられるのは、古田氏だけこの思いで引き受けた」と決意を述べた。

会見に同席した県商工会議所連合会の村瀬幸雄会長、JA岐阜中央会の櫻井宏会長は、副本部長に就任する見込み。村瀬会長は「産官学、オール岐阜の支援となる」と述べた。

江崎氏陣営の本部長には、後援会長も務める元岐

阜大学長で、大垣徳洲会病院政策顧問の森秀樹氏が就任した。森氏は11月末の会議で記者団に「時代が変わる節目に、江崎氏は豊富なビジョンを持っている」と就任の理由を語っている。

本部長以下の布陣は、いずれも自民党県連の役員が名を連ねた。本部長代行は、会長代行の猫田孝典議、選対委員長は幹事長の村下貴夫県議。委員長代理は政調

会長の藤壇守県議、副委員長は副会長の小川恒雄県議。事務局長は総務会長の尾藤義昭県議が務める。大野泰正参院議員は顧問に就く。

知事選は来年1月7日告示、同24日投開票。いずれも無所属新人で、新日本婦人の会県本部会長の稲垣豊子氏(69)＝共産推薦＝、元県職員の新田雄司氏(36)も立候補を正式に表明している。